

令和4年9月5日  
大地の芸術祭実行委員会  
(十日町市文化観光課)  
J R 東日本新潟支社

大地の芸術祭における地域協創アクションプログラムの  
取り組みについて

大地の芸術祭実行委員会（実行委員長：関口 芳史）と東日本旅客鉄道株式会社新潟支社（執行役員新潟支社長：小川 治彦、以下「JR東日本」）では、経団連が推進する地域協創アクションプログラムにおける協創事業を以下のとおりスタートしましたのでお知らせします。これからも両者は「地域協創」により連携して取り組んでまいります。

【大地の芸術祭を活用したJR東日本の取り組み】

1. 社員による作品受付の実施

実施目的：大地の芸術祭への参画による地域づくりの実践

作品名：Kiss&Goodbye（JR飯山線プロジェクト／T325 土市駅）

期間：開催会期中の8月を除く土・日・祝日

2. 大地の芸術祭を活用した社員研修の実施

○研修概要：座学や大地の芸術祭フィールドワークを通じた地方創生の学び

①リーダー向け社内ネットワーキング研修

期間：7月21日（木）、8月29日（月）、9月8日（木）

参加者：総勢50名程度

②新入社員育成プログラム

期間：10月下旬を予定

参加者：総勢35名程度



（「リーダー向け社内ネットワーキング研修」の様子）

（次のページあり）

### 3. 大地の芸術祭を巡るレクリエーション（福利厚生）の実施

- 概要：芸術祭作品巡りを通じた社員相互のコミュニケーションの醸成  
期 間：8月26日（金）、27日（土）  
参 加 者：総勢179名



（8月27日（土）開催のレクリエーションの様子）

#### 【参考】「大地の芸術祭」とは

- ・世界最大級の国際芸術祭であり、日本中で開催されている地域芸術祭のパイオニア。アートを道しるべに里山を巡る新しい旅は、アートによる地域づくりの先進事例として、国内外から注目を集めています。
- ・過疎高齢化が進む日本有数の豪雪地、新潟県の越後妻有地域（十日町市・津南町）が舞台。農業を通して大地とかがわってきた「里山」の暮らしが今も豊かに残っている地域で、1年を通して自然の中に作品を展示します。
- ・大地の芸術祭は2000年から開催されており、2021年に8回目を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期し、2022年に開催。会期は4月29日（金・祝）～11月13日（日）の全145日（休祭日は火・水曜日）と、これまでになく長期開催となります。なお、前回2018年は約54万人の来場者数を記録し、経済効果や雇用・交流人口の拡大をもたらしています。
- ・大地の芸術祭会期以外にも「大地の芸術祭の里」として、四季折々の季節に応じたプログラムを展開しています。

#### ■お問合せ先

- 大地の芸術祭実行委員会事務局  
（十日町市産業観光部文化観光課）担当：齋喜  
TEL:025-757-2637 FAX:025-757-2285
- 東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社  
総務部広報室 TEL:025-248-5107